

## J F A 第 1 6 回全日本女子フットサル選手権大会 関東大会

## 実施要項

- 1 大会名称 J F A 第 1 6 回全日本女子フットサル選手権大会 関東大会
- 2 主 催 一般社団法人 関東サッカー協会
- 3 主 管 一般社団法人 関東サッカー協会フットサル委員会、一般社団法人 山梨県サッカー協会、
- 4 協 賛 株式会社モルテン 予定
- 5 協 力 山梨県フットサル連盟
- 6 日 程 1 回戦・2 回戦 2019 年 9 月 8 日 (日) 山梨県立小瀬スポーツ公園体育館  
準決勝・決勝 9 月 14 日 (土) 〃  
※代表者会議 9 月 7 日 (土) 19 : 30 ~ 山梨県立小瀬スポーツ公園体育館研修室
- 7 参加資格 (1) フットサルチームの場合
- ① 公益財団法人日本サッカー協会 (以下、「日本協会」とする。) に「フットサル1種」「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適応対象となる選手の年齢は、「フットサル1種」チームは、「フットサル2種」「フットサル3種」とし、「フットサル1種」の選手は適応対象外となる。「フットサル2種」チームは、「フットサル3種」のみとし、「フットサル2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
  - ② 前項のチームに所属する 2007 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
  - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
- (2) サッカーチームの場合
- ① 日本協会に「2種」「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること。日本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適応対象となる選手の年齢は、「3種」年代のみとし、「2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。
  - ② 前項のチームに所属する 2001 年 4 月 2 日以降、2007 年 4 月 1 日以前に生まれた選手であること。女子に限る。
  - ③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。
- (3) 都県大会を通して選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。
- (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
- (5) 参加チームは、傷害保険 (スポーツ安全保険等) に加入していること。
- (6) チーム代表者は、20 歳以上で当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。なお、複数のチームの代表者を兼ねることはできない。
- 8 参加チーム数 参加チームは、次の各号により選出された 14 チームとする。
- ① 都県出場枠 8 チーム (1 都 7 県各 1 チーム)
  - ② 開催地代表枠 1 チーム (山梨県の返上、ドント方式 東京都)
  - ③ 前回大会優勝枠 1 チーム (東京都)
  - ④ 前回大会登録枠 2 チーム (ドント方式 東京都、神奈川県)
  - ⑤ 前年度関東女子フットサルリーグ上位 2 チーム  
(1 位フウガドルすみだレディース、2 位 VEEX TOKYO Ladies)
- ※ なお、不足の事態により、都県代表チームが決められた日までに欠場が決まった場合は、昨年度の県予選チーム数において、ドント方式により、その欠場枠を埋めることとする。(東京 37、神奈川 13、栃木 5)
- 9 大会形式 14 チームによるノックアウト方式により優勝、準優勝、第 3 位チームを決定する。

10 競技規則 当該年度日本協会制定のフットサル競技規則による。

11 競技規程 以下の項目については

(1) ピッチ

1回戦～2回戦：38m×19m、 準決勝・決勝 40m×20m

(2) ボール

日本協会検定球：モルテンヴァンタッジオ4000フットサル（F9V4001）4号球を使用する。

(3) 競技者の数

競技者の数：5名、交代要員の数：9名以内

ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内

(4) チーム役員数等

3名以内（但し、通訳が登録されている場合は、4名以内とする）

ベンチに入ることができる人数：12名以内（交代要員9名以内、役員3名以内）

(5) 競技者の用具

①ユニフォーム

(ア) 日本協会のユニフォーム規定に基づいたユニフォームを使用しなければならない。

(イ) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい（シャツ、ショーツ、ストッキング）を参加申込書に記載し、各試合に正副ともに必ず携行すること。

(ウ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。

(エ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用していたシャツと同一の色彩及びデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。

(オ) シャツの前面、背面に参加申込書に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判断が容易なサイズのものでなければならない。

(カ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認められない。1番はゴールキーパーが付けることとする。必ず、本大会の日本協会フットサル大会申込書に記載された選手固有の番号を付けること。

(キ) ユニフォームへの広告表示については、日本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。但し、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は、当該チームにて負担することとする。

(ク) ゴールキーパーがトラウザー（スウェット）を着用する場合は、ゴールキーパーユニフォームの正・副のショーツと同色のものとし、パンツに選手番号がある場合は、必ずトラウザーにも、選手番号を付けることとする。タイツの使用は認めない。

(コ) その他、ユニフォームに関する事項については、日本協会のユニフォーム規定に則る。

②シューズ：靴底は接地面が紺色、白色もしくは無色透明のフットサルシューズのみ使用可能とする。ノンマーキング表示があっても、他の色は認めない。

③ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。各チーム2色携行すること。

(6) 試合時間

1,2回戦、3位決定戦：30分（15分ハーフ）プレーイングタイム（ハーフタイムのインターバル10分）

準決勝及び決勝：40分（20分ハーフ）プレーイングタイム（ハーフタイムのインターバル15分）

(7) 試合の勝者を決定する方法（試合時間内で勝敗が決しない場合）

1, 2 回戦、3 位決定戦 : PK 方式により勝敗を決定する。PK 方式に入る前のインターバルは1 分間とする。  
準決勝～決勝 : 10 分間 (前後半各 5 分間) の延長戦を行い、決しない場合は PK 方式により勝敗を決定する。延長戦に入る前のインターバルは5 分間とし、PK 方式に入る前のインターバルは1 分間とする。

- (8) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合  
その帰責事由のあるチームは 0対3 で敗戦したものとみなす。
- (9) 試合登録においてチーム役員及び選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム役員・選手の中からチーム役員として試合登録ができ、ベンチに入ることが認められる。この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。
- (10) 試合開始時に最小3 人の競技者がいる状況において、試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、かつ大会登録選手であり、出場資格を有すると確認されている競技者が、試合開始時に不在の場合、以下のとおりとする。
- ① 前半開始 (前半キックオフ) 後ピッチに到着した場合、その競技者は、前半は出場できずベンチに入ることもできない。試合開始から後半開始までの間にピッチに到着し、ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると後半開始時よりその試合に出場することができ、ベンチに入ることもできる。
- ②後半開始 (後半キックオフ) 後、ピッチに到着した場合、その競技者は、その試合に出場することはできずベンチに入ることもできない。

- 12 懲 罰 (1) 本大会の都県予選は、懲罰規定上の同一競技会とみなし、予選終了時点での未消化の出場停止処分は、本大会の試合にて順次消化する。但し、警告の累積によるものは除く。
- (2) 本大会期間中に警告を2 回受けた選手は、自動的に本大会の次の1 試合に出場できない。
- (3) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1 試合に出場できず、それ以降の処置については日本協会「懲罰規定」に則り、その処置を関東協会フットサル規律フェアプレー委員長が決定する。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式戦にて消化する。但し、全国大会進出となる場合には、全国大会にて消化する。また、警告の累積によるものを除く。

13 組合せ 本大会の組合せは、一般社団法人関東サッカー協会フットサル委員会 (以下、「関東協会」とする。) において抽選により決定する。

- 14 参加申込 (1) 1 チームあたりの登録人数は、選手20 名、役員6 名を上限とする。  
「関東大会 大会登録票兼参加申込」に記載できる選手は、本大会の予選となる都県大会に登録していること。ただし、3 名を上限として、本大会の予選となる他の都道府県大会に出場していない選手を記載できる。その場合、第7 条に定める参加資格を満たしていなければならない。
- (2) 参加チームは、都県サッカー協会に登録した「フットサル大会登録票(写し)」「プライバシーポリシー同意書」、「振込確認書」を下記宛に送付すること。また「関東大会 大会登録票兼参加申込書(データ形式)」に必要事項を記入の上、所属都県サッカー協会宛に、データ送信及び原紙を提出すること。(メールアドレスは所属都県サッカー協会宛に個別に確認をすること。) 都県サッカー協会は記入内容を確認した上でデータを下記宛に送信するとともに、「関東大会 大会登録票兼参加申込書」原紙は各都県のサッカー協会会長印を押印し、下記宛送付すること。
- (3) 申込先 「JFA 第16 回全日本女子フットサル選手権 関東大会事務局」  
〒409-3864 山梨県中巨摩郡昭和町押越 1500-1 押原公園内  
一般社団法人 山梨県サッカー協会事務局 フットサル委員会 竹中 洋 宛
- (4) 申込期限 電子データは 8 月12 日(月) までに送信  
その他の関係書類は、8 月14 日(水) 必着で郵送。
- (6) 選手変更は、3 名を上限に認められる。2019 年9 月2 日(月) 必着締め切りとする。  
その場合、第7 条の参加資格を満たしていることを条件とする。
- (7) チーム名は短縮語 (FC や SC など) を除き、日本語表記でなければならない。
- (8) 前項申し込み締め切り日以降の、参加申込内容変更は認めない。

15 大会参加費 45, 000 円とする。

- 16 電子選手証 各チームは、日本協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができる個  
 のであること。※選手証とは、日本協会 WEB 登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印  
 刷したもの、または、スマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
- 17 代表者会議 期日：2019年9月7日（土）19時30分～  
 会場：小瀬スポーツ公園 体育館内 研修室  
 ※参加チーム代表者1名は、代表者会議に出席しなければならない。  
 ※代表者会議に欠席した場合は失格とする。但し、その可否については主催者が決定する。
- 18 表彰 優勝・準優勝・第3位に表彰状を授与する。
- 19 出場権 上位2チームは全国大会に出場する義務と権利を有する。  
 〈開催日〉 : 2019年11月2日（土）～4日（月）  
 〈会場〉 : 石川県/いしかわ総合スポーツセンター
- 20 傷害補償 参加チームの責任において、出場選手及び役員は傷害保険に必ず加入しなければならない。怪我などの事故が発生  
 した場合、主催者は一切の責任を負わない。
- 21 その他
- (1) 参加資格に違反、その他不都合な行為のあった時は、規律・フェアプレー委員会にはかり、その選手又はチームの  
 処分を決定する。
  - (2) 各試合の60分前に両チームの責任者・審判とのマッチコーディネーションミーティングを行う。  
 遅刻についての判定は、前項により決定する。
  - (3) 負傷手当については、救急車の手配は行うが、その後については、チームの責任において処置をすることとする。
  - (4) 本大会に関するテレビ、動画、写真の権利は、全て関東協会フットサル委員会に帰属する。また、肖像権の使用は、  
 前記フットサル委員会の承認を必要とする。
  - (5) その他については関東フットサル委員会で決定する。

※ ホームページ掲載にあたり一部項目を省略しております。